

平成19年11月30日

宇陀市長 前田 禎郎 様

宇陀市総合計画審議会  
会長 松塚 幾善

### 宇陀市総合計画について（答申）

平成19年2月19日付字企第460号で諮問のあった宇陀市総合計画（案）について、本審議会において慎重に審議した結果、総合的かつ計画的な施策を推進する計画として概ね妥当なものと考えます。

今後、計画の推進にあたっては、本審議会の答申を十分に尊重され、特に下記の事項に留意されるよう意見を付して答申とします。

#### 記

1. 新しく町村合併で誕生した本市にとっては、市民の一体感の醸成と地域の均衡ある持続可能な発展が大切である。総合計画の将来像である『自然と共生し、歴史・文化が育む ふれあいと活力あるまち 宇陀市』の実現に向け、新しいまちづくりに努力されたい。
2. 少子高齢社会の進行や地域経済の低迷によって、本市においては定住・交流人口の増加と地域力の再生が急務である。企業誘致を始め、さまざまな定住・交流施策の促進を図り、市民との協働・参画を積極的に進め、市民主体のまちづくりを推進されたい。
3. 基本計画については、財政状況の厳しさが増すなか、行財政改革を積極的に進める意味からも、主要事業など見直すべきものは見直しを行われたい。  
また、財政の裏づけと実効性のある計画として「実施計画」の策定を行うとともに、事業の優先性や緊急性を考慮し、社会情勢の変化に素早く対応しながら、必要に応じて計画の修正を行われたい。
4. 基本計画における施策や事業について、策定後の実施状況や効果などを点検し、進捗管理を行うように努められたい。
5. まちづくりの方向性について、市民に理解と協力・参画が得られるよう、本計画の趣旨と内容を広く、わかりやすく周知されたい。

以上